

トップ直撃インタビュー

サントリービール 西田英一郎社長



「パーフェクトサントリービール」高初速

13日に全国で発売された「パーフェクトサントリービール」の出足が好調だ。今週末までの出荷は当初計画の1.5倍、年内販売計画の約3割にあたる74万箱見込みの高初速。「美味しい」上に「糖質ゼロ」という2度の驚きで流通筋からも高い評価を受けている。これからのビールのスタンダードとなる可能性を秘めており、サントリービール事業の第4の柱とすべく大事に大きく育てていきたい」とする西田英一郎サントリービール社長。「健康意識の高まりはコロナ禍以降も続く」として、「オールフリー」を含めた機能系カテゴリーの需要創造に意欲を示す。

「コロナ禍で業務用が大きな打撃を受ける一方で、ビール味への人気の根強さを感じている」。巣ごもりで「金麦(糖質75%オフ)」が高伸長を続け、減税以降は「ザ・プレミアム・モルツ」の缶製品、特に「同(香る)エール」が大きく伸長している



ことを受けての発言だ。そうしたビールへの追い風と、健康意識の高まりを背景とした「パーフェクトサントリービール」の発売を、「まさにグッドタイミング。23年10月を経て26年10月に完結するビール類酒税の一本化に向けた中長期的にも、その意義は大きい」とする。

機能系カテゴリーを、「ビール類は二極化と言われているが、カテゴリーを跨ぐ第三極として重要視している」。事実、昨年にはノンアルコールビールテイスト飲料を含むビール類総市場の2割程度を占めた同カテゴリー。今もそのウエイトを高め、近い将来3割を超える可能性も低くない。「パーフェクトサントリービール」の好スタートも、「それだけ待っていたビールファンが多かった証」と分析する。「だからこそ、流通筋にもサントリーの本気感が伝わった」とも。

機能が優れていても、美味しくなければ話にならない」と断言する。それだけに、「絶対に妥協しない」として16年から多くの試醸を重ねた独自技術と、料飲店でのテスト販売で得た知見には自信がある。また、それが「スタンダードビールのど真ん中に」との強い思いにつながっている。「金麦(糖質75%オフ)」についても、「金麦」のコンセプトである、味わい・食卓出現率の高さ・料理との相性の良さをベースに、プラスとして糖質が75%オフだからこそ、多くのファンに受け入れられ続けている」とする。

西田社長が唱える「美味しいのは当たり前」は、サントリーの「ものづくり」にかける想いとして脈々と受け継がれてきた。今のビール事業でいえば、「ザ・プレミアム・モルツ」「金麦」「オールフリー」の各シリーズはもろろん、スタンダードビールの「ザ・モルツ」など同様な。その上で、「将来、更に重要なカテゴリーになる」とみる機能系。「ニーズは必ずある。前向きに考えている」とする「パーフェクトサントリービール」の樽生展開の実現も、そう遠くはないのかもしれない。(石母田健)

さかな
肴で、
酒は
うまくなる。

K&K 缶つま

国分グループ本社株式会社

〒103-8241 東京都中央区日本橋1-1-1 <https://www.kokubu.co.jp/>